

宮崎市制100周年 本紙「キッズプレス」 西池小4人 記者委嘱

宮崎市制100周年を記念したキッズプレスプロジェクトの委嘱状を受け取る小学生19日午後、宮崎市・西池小



宮崎市制100周年を記念し、市内の小中学生が地域を取材し、宮崎日日新聞の紙面で情報発信する「キッズプレスプロジェクト」

(同市主催)で19日、西池小から参加する児童4人への記者委嘱式があった。同プロジェクトには江平小、生

目中、生目南中の児童、生徒も参加。夏休みから秋にかけて取材を経験し、古里の歴史や魅力を再発見する。

西池小であった委嘱式では、同市の袈裟丸未央総合政策部長が、児童一人一人に委嘱状と名刺を手渡し、「新聞を読むと世の流れを

知ることになる。そこに自分の記事が載る経験を大人になっても生かしてほしい」と激励した。

記者養成講座もあり、宮崎日日新聞社の黒木友貴・読者企画委員が取材の仕方や写真の撮り方を解説。本

紙記者と今後の取材について打ち合わせた。

参加する同校6年、黒木陽奈子さん(11)は「不安が30%、ワクワクが70%。読者に伝わりやすく、興味を持つてもらえるような記事を書きたい」と話していた。